

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公開番号】特開2002-355698(P2002-355698A)

【公開日】平成14年12月10日 (2002.12.10)

【出願番号】特願2001-163977(P2001-163977)

【国際特許分類】

C 0 2 F 11/08 (2006.01)

B 0 1 J 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 2 F 11/08

B 0 1 J 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月15日 (2008.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

これまで下水汚泥の超臨界水酸化において、下水汚泥中の窒素成分はすべて加水分解により一旦アンモニアとなり、アンモニアが酸化されて硝酸および亜硝酸となり、アンモニアと硝酸または亜硝酸の反応により処理水中から窒素成分が消失すると考えられてきた（下記反応式（1）～（3）参照）。